

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年6月25日

兵庫県知事 殿

提出者 株式会社 トッパンパッケージプロダクツ滝野工場
住 所 兵庫県加東市河高355-4
氏 名 工場長 浜田 慎哉
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0795-48-5520

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 トッパンパッケージプロダクツ滝野工場
事業場の所在地	兵庫県加東市河高355-4
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1532 印刷物加工業
②事業の規模	製造品出荷額 1,275,183万円
③従業員数	128名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(1)の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙(2)項の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙(3)項の通り	
	排 出 量	別紙(3)項の通り	t
	(これまでに実施した取組) 用紙構成の見直しによる樹脂量削減 割付面数改善によるヤレ部分の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙(3)項の通り	
	排 出 量	同上	t
	(今後実施する予定の取組) TPM活動により良品率の向上とミスロス削減を行い、産廃排出の削減を目指す。 紙管の大幅増加、FSSC対応による包装紙増と産廃量増の影響あり。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内でパレテーナにて分別回収を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) EMS活動で分別徹底が出来ているので引き続き現状維持を図る。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組) -		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組) -		

(第4面)

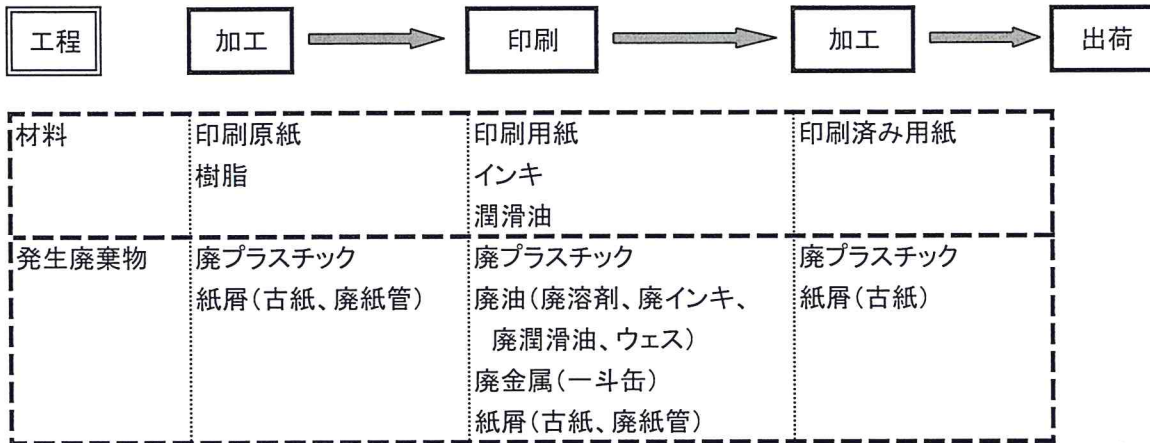
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組) -		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙④項の通り	
	全処理委託量	別紙④項の通り t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙④項の通り t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙④項の通り t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙④項の通り t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙④項の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 廃プラの一部をRPF化ではなく、レジンを再生を可能とし有価化を達成した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙④項の通り	
	全処理委託量	別紙④項の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙④項の通り t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙④項の通り t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙④項の通り t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙④項の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) TPM活動により紙くず量の減少を目指す。		
※事務処理欄			

備考

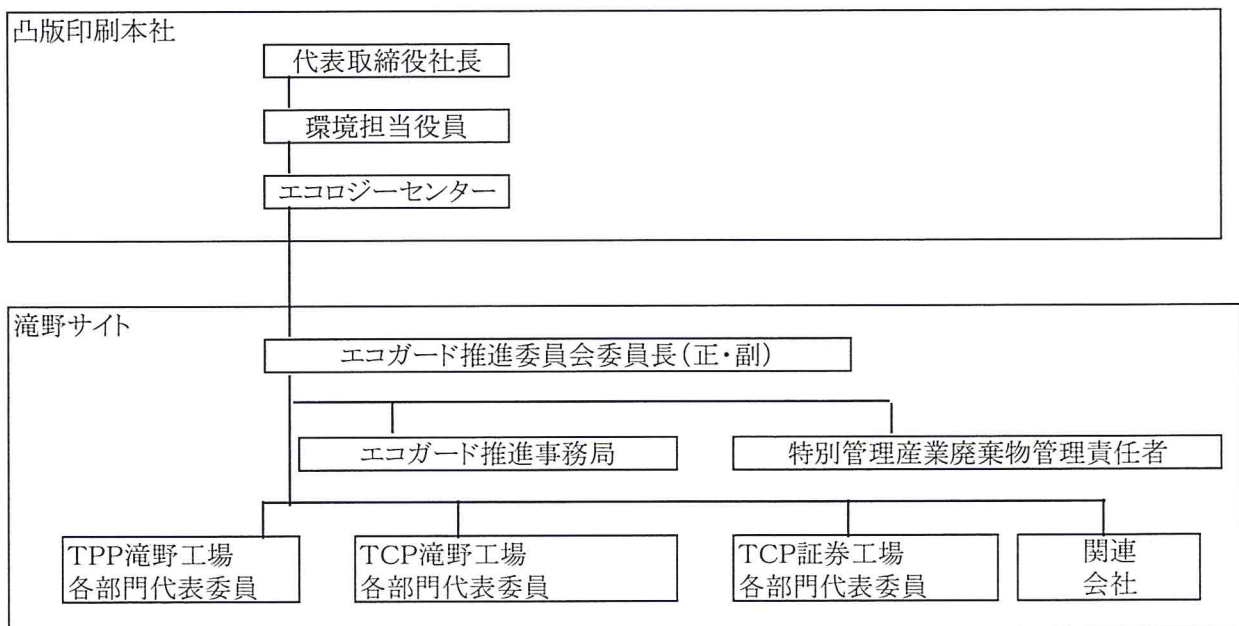
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

①液体紙容器製造フロー



- ・廃プラ … マテリアルリサイクル、RPF、熱回収焼却(極少量)
- ・紙くず … 全量再生紙
- ・廃油(廃溶剤) … 溶剤回収再生、燃料化:特管産廃
- ・廃油(潤滑油) … 燃料化
- ・廃金属 … 再生

(2) 産業廃棄物処理に関する管理組織図



③産業廃棄物の排出抑制

○現状 前年度(平成25年度)実績 (ton)

産廃種類	廃プラ	紙くず	廃金属	木くず	廃油
排出量	286	4684	53	43	3

○計画 目標 (ton)

産廃種類	廃プラ	紙くず	廃金属	木くず	廃油
排出量	290	4700	55	45	5

※生産量が増加しているため、一昨年前の状態維持に努める

④産業廃棄物の処理の委託

○現状 前年度(平成25年度)実績 (ton)

産廃種類	廃プラ	紙くず	廃金属	木くず	廃油
全処理委託量	286	4684	53	43	3
優良指定業者への 処理委託量	161			43	3
再生利用業者への 処理委託量	125	4684	53		
認定熱回収業者への 処理委託量					
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量					

○計画 目標

産廃種類	廃プラ	紙くず	廃金属	木くず	廃油
排出量	290	4700	55	45	5
優良指定業者への 処理委託量	160			45	
再生利用業者への 処理委託量	130	4700	55		5
認定熱回収業者への 処理委託量					
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量					